

平成 27 年度 石狩市教育委員会会議（10 月定例会）会議録

平成 27 年 10 月 30 日（金）

開 会 14 時 00 分

第 2 委員会室

○委員の出欠状況

委 員 氏 名	出席	欠席	備 考
委員長 徳 田 昌 生	○		
委 員 門 馬 富士子	○		
委 員 松 尾 拓 也	○		
委 員 山 本 由美子	○		
教育長 鎌 田 英 暢	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	百 井 宏 己
生涯学習部次長（教育指導担当）	武 田 淳
生涯学習部次長（社会教育担当）	東 信 也
総務企画課長	蛭 谷 学 俊
学校教育課長	安 崎 克 仁
文化財課長	工 藤 義 衛
浜益生涯学習課長	開 発 克 久
教育支援センター長	板 谷 英 郁
特別支援教育担当課長	森 朋 代
学校給食センター長	成 田 和 幸
市民図書館副館長	清 水 千 晴
生涯学習部参事（指導担当）	濱 本 賢 一
総務企画課主幹	松 永 実
総務企画課総務企画担当主査	高 石 康 弘

## 議事日程

### 日程第 1 会議録署名委員の指名

### 日程第 2 教育長報告

### 日程第 3 協議事項

- ① 学校整備の具体策（案）について（非公開）

### 日程第 4 報告事項

- ① 平成 27 年度（第 4 回）石狩市調べる学習コンクール審査結果について

### 日程第 5 その他

### 日程第 6 次回定例会の開催日程

---

## 開会宣告

（徳田委員長）皆さん、こんにちは。只今から、平成 27 年度教育委員会会議 10 月定例会を開会します。

### 日程第 1 会議録署名委員の指名

（徳田委員長）日程第 1 会議録署名委員の指名ですが、山本委員にお願いします。

### 日程第 2 教育長報告

（徳田委員長）日程第 2 教育長報告を議題とします。教育長から報告をお願いいたします。

(鎌田教育長) それでは私からご報告をさせていただきます。10月3日、4日に市内の中学校の文化祭が行われています。次に10月1日、2日、5日に、28年度の教職員の人事面接ということで、9月から行ってきたものも含め、市内全ての小中21校、97名の先生たちの面接を終えてきたところでございます。次に10月8日、市内中学校の音楽発表会が花川北コミセンで行われました。これは市内の全中学校の合唱の発表ということで、学校によっては文化祭の代表学級を決めて出てきているところや、学校によっては全校生徒が合唱するところもありますが、概ね30～40名の編成でそれぞれ合唱を披露したところでございます。特筆するところを申し上げますと、まず厚田中については、武岡校長がピアノの伴奏で参加されておりましたことと、この発表会の審査委員長は樽川中の水野校長なのですが、水野校長は専門科目が音楽ということで、最後に審査委員長の講評をされた後に、水野校長が厚田村での在任中に創った曲「厚田あったか・あいロード」という曲を子ども達の前で披露されました。次に10月9日、石狩市と彭州市の姉妹都市の提携15周年記念式典ということで、議場で式典を行い、花川北コミセンで祝賀会を行っております。彭州市から副市長をはじめ22名が石狩市にいられています。うちは小中学生がそれぞれ3名ずつ来られまして、祝賀会では彼らが京劇を披露するなど、非常に優秀な子ども達でありました。次に10月10日、「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」の絵画展の表彰式が市民図書館で行われました。石狩ユネスコ協会主催の今年で10回目の絵画展で、市内全小学校から880作品の応募があり、そのうち各賞50作品を表彰したところでございます。徳田委員長も出席しご挨拶をされたところでもあります。次に10月16日、第60回の市民文化祭、展示部門がこの日から始まって、次の日から舞台部門が行われています。18日の日曜日まで行われまして、来場者につきましては、花川南コミセンでの展示部門は3,125名、花川北コミセンでの舞台部門は1,520人が来場されて、これは昨年より来場者数が非常に増えたという結果になりました。次に10月17日、27年度の「I Y P石狩の未来を考える子ども議会」が開催されました。I Y P（石狩ヤングプロジェクト）主催の子ども会議でありまして、14名の中高生が福祉、教育、暮らし、それぞれ3つのグループに分かれて提案と質問を行っています。福祉グループでは、ボランティアの普及と啓発について、学生ボランティアの普及啓発のための普及日あるいは普及週間を設定してはどうかという提案でした。教育グループについては、手話と外国語をもっと身近な言語にしようということで、手話の学びのあり方や外国語の留学費用の情勢についてなどの質問がありました。そして、暮らしのグループについては、子ども達の居場所の充実ということで公園でのボール遊びの可否などについての質問があり、質問の内容、回答の答弁によっては再々質問も出るなど、非常に熱心な質疑が行われたと

ころでございます。次に10月18日、「俳句のまち〜いしかり〜」第11回俳句コンテスト、第10回こども俳句コンテストの表彰式が花川南コミセンで行われました。一般の部は市内外を含めて136人、272の候補作品、子どもの部については一人一句となっていますので、市内小中学校から2,871句の応募があり、当日は入選者、一般が4名、小学校7名、中学生9名が表彰されたところであります。10月24日、市内小学校の学芸発表会ということで、この日行われた厚田小学校を皮切りに11月上旬まで、市内各小学校の学芸発表会が開催される予定となっています。最後に10月25日、27年度の石狩市・恩納村中学生交流訪問団が沖縄県恩納村に向けて出発し、3泊4日の行程を終えて一昨日無事帰ってきたところであります。隔年で訪問と受入を実施しており、今年は石狩の方から恩納村の方に訪問するというので、石狩中学校の岡本校長を団長に、引率5名、これには市教委の方から濱本参事と清水市民図書館副館長の2人が参加してはいますが、市内5つの中学校から男子10名、女子7名の計17名の中学生が訪問しました。学校間の交流や民泊を通じてそれぞれ気候や風土、歴史や文化の違いなどを肌で感じ、友好の輪を広げてきたところでございます。特に1日目の沖縄に到着して早々に南部戦跡の見学として、北嶺の碑や平和の礎などを訪問して、70年前の戦争の悲劇や平和の大切さへの理解を深めてきたところであります。それぞれ子ども達の個別の感想等については、これから作成する報告書をもって拝見する形になりますけれども、参加した子ども達は楽しく、非常に勉強になり、貴重な経験を積むことができたと聞いております。私からは以上です。

(徳田委員長) ありがとうございます。ただ今、教育長から報告ありましたがこの件についてご質問等いかがでしょうか。

(門馬委員) 以前にもお聞きしたことあったのかもしれませんが、この恩納村の中学生交流団ですが、17名の中学生というのはどのようにして選考されるものなんですか。

(蛭谷総務企画課長) 恩納村に派遣される中学生の選考につきましては、先程教育長の方から隔年で訪問と受け入れを繰り返しているという説明がありましたが、まず訪問と民泊の受け入れをセットとするという考えが一つあります。26年度において民泊を受け入れた家庭の生徒については優先的に、もし希望されるのであれば訪問団に選出することとし、その後で広く市内の中学校に参加募集を行い、選考するというかたちを取っております。以上です。

(門馬委員) わかりました。

(松尾委員)：3点ほどあります。まず10月19日、石狩教育局新山教育支援課長が来庁されたということなのですが、これについて何か今後の動きに関係するところがあれば教えていただきたいなというところと、10月22日に行われた「学校改革に結びつく学校評価システム構築事業研修会」について、10月27日に行われた「石狩教育講演会」について、お聞かせいただければと思います。以上よろしくお願いたします。

(鎌田教育長) 10月19日の新山教育支援課長が来庁された件につきましては、いわゆる広域人事を含めた部分の話でありまして、今後の協力要請などについてということで、それほど重要なお話ではありませんでした。10月27日の「石狩教育講演会」については、石狩教育振興会が主催して、講師として白崎前北広島市教育長が来られて、ちょうど教育委員会制度が変わったということ踏まえて、改革期の今の教育の現状に立ち向かう学校経営者の姿勢等について、校長・教頭を対象にお話をされました。石狩管内の各校長・教頭各97名が参加して、講演を拝聴したところですが、教育委員会制度が変わったということ踏まえて、さらに強固な関係を各教育機関で作らなければ駄目だというのが主な内容でありました。以上です。

(武田教育指導担当次長) 松尾委員のお尋ねにありました、10月22日の「学校改革に結びつく学校評価システム構築事業の研修会」についてお答えいたします。本事業につきましては、平成27年度単年度の文科省指定事業でございまして、道内では登別市、北見市、そして本市という3つの都市でこの事業を受けております。市内の指定校として花川小学校が指定を受けておりまして、学校評価についての研修ということで、講師には山梨大学大学教育センターの日永龍彦教授が来られました。内容については、学校関係者評価を中心にして様々な学校評価が職員、児童、保護者を対象に行われているわけですが、総合的にどのように目標立てをして、どのように学校の改善を図っていくかというような内容でございました。参加者は市内の管理職、または各校の中核職員ということで42名参加されました。この後12月には、指定校である花川小学校の先生方、職員を対象に研修会を開いていただくということで、よりわかりやすい内容で、そして役に立つ学校評価に向けた研修をしていただける予定となっております。以上です。

(松尾委員) わかりました。

(徳田委員長) 今の質問に関連しまして、学校評価ということで、この目的は改

革することだろうとは思いますが、大学の外部評価というものは最初は評価すべきところから始まって、徐々に予算に反映させるというところまで進んでしまったのですね。この学校改革ということで、そういうことも文科省は視野に入れていて、各自治体でその評価を何らかの形で反映することを裏に秘めたような評価ではないかというような推測もできるのですが、そういう点はいかがでしょうか。

(武田教育指導担当次長) 学校に学校評価の取組が努力義務から義務付けになって4～5年経つのですが、その義務付けられている内容については、年度の終わり、3月を目途にして学校関係者評価報告書というものを提出することになっております。これは1年間を通じて、その学校が経営方針に沿いながらどのような課題を設定して、どのように評価を加えて、どのような改善を加えたかということについて学校の関係者、保護者、あるいは地域の町内会、自治会の代表の方等、約4～5名の方々のご意見を頂戴して、そしてそれを取りまとめて、さらに学校長からそのことに対する所見も含めて市教委へ提出することになっております。市教委の方ではそれを見ながらということで先程の該当するような内容があればそういったことに反映されるものだと思っております。

(徳田委員長) わかりました。もう一件お伺いしたいのですが、石狩ヤングプロジェクトの子ども議会というものがありませんでしたが、これはどこが主催して、どういう形で子ども達が選ばれて年何回開催されているのでしょうか。概要でも分かればお願いします。

(鎌田教育長) 主催はIYP、石狩ヤングプロジェクトという市内の中高生の生徒会のメンバーなのですが、これは毎年保健福祉部の方が事務局・サポートをして、いろいろなイベントが行われております。その中で今年は「子ども議会」という形で行われました。市制10年の時に青年会議所が主催して、子ども会議というものをやったことがあると思うのですが、それ以来開催されたことはありません。

(徳田委員長) 今回が2回目になるのですね。

(鎌田教育長) はい。市内の中高生のいわゆる生徒会のメンバーが参加して、今回行われております。IYPは毎年そういったイベントを通して、子どもの意見発表の場を設けていたので、今年は議場で石狩市の行政に対して発表したのがこれが初めてではないかと思えます。

(徳田委員長) わかりました。他に質問等はありませんか。

質問なし

(徳田委員長) それでは他に質問が無いようですので、教育長報告を了解といたします。

### 日程第3 協議事項

#### ① 学校整備の具体策（案）について

(徳田委員長) 次に、日程第3 協議事項を議題といたします。

協議事項①を非公開とする件について

(徳田委員長) 協議事項の①、学校整備の具体策（案）については、石狩市教育委員会会議規則第15条第1項第6号及び第10号に該当しますので、非公開案件として後ほど協議したいと思いますが、ご異議ありませんでしょうか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め、非公開とすることに決定しました。

### 日程第4 報告事項

#### ① 平成27年度第4回石狩市調べる学習コンクール審査結果について

(徳田委員長) 次に日程第4 報告事項を議題といたします。報告事項①「平成27年度第4回石狩市調べる学習コンクール審査結果について」事務局から説明を

お願いします。

(清水市民図書館副館長) 私から第4回石狩市調べる学習コンクールの審査結果についてご報告いたします。まず趣旨ですが、子ども達が調べる学習を通じて主体的に学ぼうとする意欲を育むと共に、図書館等の活用により情報を取捨選択し、自分の考えをまとめるなど、生涯を通じて学ぶ力を身につけることを目的に開催しているものです。コンクールの全体像ですが、公益法人図書館振興財団が実施している全国規模のコンクールがございまして、このコンクールの地区コンクールということで位置づけて実施をしているところです。応募資格ですが、石狩市内の小中学生ということで対象にしています。募集期間は9月の1ヶ月間でした。応募いただいた作品につきましては、10月9日に市民図書館において、約3時間をかけて審査を行いました。審査員につきましては、図書館協議会委員の学校関係者や学校司書等を中心に6名で構成している審査会です。審査結果につきましては最優秀賞が4点、優秀賞7点、佳作11点です。受賞作品につきましては資料をご覧くださいと存じます。今回は市内全小学校から参加をいただきました。課題といたしまして中学校の参加がまだ少ないということが挙げられます。また結果を見ていただけるとお分かりになると思いますが、小規模校の受賞がなかなか難しいという現状がございまして、これについては来年度予定しております小規模校の学校図書館整備の取組みの中で、作品作りのサポートなどを考えていきたいと考えています。また作品数もさるところながら、中学校で最優秀賞、優秀賞が出なかったことなど、質も課題であるというふうに考えております。今後につきまして、明日10月31日土曜日に、図書館まつりの中で表彰式を開催いたします。また受賞作品の複製を明日から2週間、市民図書館内で展示いたしますので、ぜひご覧くださいと存じます。また受賞作品のうち最優秀、優秀賞については全国コンクールに推薦いたします。結果は来年の1月頃に通知される予定となっております。私からは以上です。

(門馬委員) ただ今のご説明の中で、小規模校の受賞が少ない、もちろん子どもの数も少ないですから応募点数も少ないでしょうけれども、入賞数が少ないという意味ですよね。それでその要因は何であるとお考えですか。先程の図書館の整備がちゃんとできていないからという様に私には聞こえたのですがいかがでしょうか。

(清水市民図書館副館長) 図書館の整備が進んでいないからというわけではなく、今年度初めて望来小学校と、聚富小学校から応募いただいたのですが、残念ながら受賞の方がいっしょらなくて、やはり全体数が大規模校に比べて少な

いというのが一番に挙げられると思うのですけれども、せっかく応募いただいているので、来年度以降に学校図書館の整備が進んで、我々が何かお手伝いをできるようなことが出てくるのであれば、この作品作りの支援ができればと考えているところです。

(門馬委員) 実情は分かりました。ただせっかく出品したのに入賞しなかった、佳作にも入らなかったというのは、次のコンクールに向けてのモチベーションを上げるためには何かもうちょっと他に方法が無かったのかなという気もするのです。何か特別賞的な、努力賞的なものでも作っていただければ、「よし、じゃあ来年は入賞目指そう」ということにもなったのかなと思ったものですから、ちょっとご配慮いただければというお願いでございます。

(清水市民図書館副館長) 門馬委員からご提言いただいた内容なのですが、図書館のスタッフともその点は話しておりまして、来年度このコンクールが5回目を迎えるという節目でもありますので、この点についても考慮しながら内容について再考していきたいと考えております。以上です。

(門馬委員) わかりました。ありがとうございます。

(徳田委員長) 他に質問等はいかがでしょうか。

質問なし

(徳田委員長) それでは他に質問等が無いようですので、報告事項①を了解ということよろしいでしょうか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め報告事項①を了解しました。

## 日程第5 その他

(徳田委員長) 日程第5 其他を議題といたします。事務局、教育委員から何かありますでしょうか。

案件なし

(徳田委員長) 案件なしということですので、日程第5 その他を終了いたします。

## 日程第6 次回の会議日程

(徳田委員長) 日程第6 次回会議の開催を議題といたします。次回につきましては11月13日の金曜日、13時30分からの開会を予定としていますのでよろしくお願いいたします。以上をもちまして公開案件は終了しました。非公開案件の説明委員以外のご退席をお願いします。

---

**【非公開案件の審議等】**  
14時32分～15時39分

---

## 閉会宣告

(徳田委員長) 以上をもって、10月定例会の案件は、全て終了いたしました。以上で、平成27年度教育委員会会議10月定例会を閉会いたします。

閉会 15時40分

## 【非公開案件の審議等の結果】

### 日程第3 協議事項① 学校整備の具体策(案)について

事務局からの説明について、了解した。(質疑等省略)

## 会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成28年3月22日

委員長 徳田昌生

署名委員 山本由美子